



学校だより

2月号

発行日：平成31年1月31日



かりやす



刈安小学校教育理念

「夢」(希望)

「愛」(教育愛)

「信」(信頼)

全国的にインフルエンザが猛威を振るっていますが、今のところ刈安小学校では誰もかからず元気に過ごしております。今年度の授業日は、残り35日です。現在の学年で学ぶべき内容を確実に身につけることができるよう、教職員一丸となり指導にあたっています。その一つとして、昼休みに「ぐんぐんタイム」を設けました。宿題の直し、終わっていない課題などがある児童が集まり、校長・教頭の指導の下、集中してそれぞれの課題に向かっています。やり終えて帰っていく時は、本当にいい笑顔です。各学級においても、担任が学力の仕上げをしています。4月に新しい学年で良いスタートが切れるようご家庭でもご支援のほどよろしくお願いします。

学校の良さを伝えたスピーチコンテスト

1月19日に津幡町英語スピーチコンテストが行われ、5年の酒井柚果さんが出場しました。友達は何人いますかと聞かれ、「友達がたくさんいます。刈安小学校は小さな学校です。全員が友達です。」と英語で答え、本校の良さを身振り手振りを交え伝えてくれました。今年度は本校からただ一人の出場でしたが持っている力を十分に発揮してくれました。



楽しくて温かい気持ちになった仲良し集会、紙芝居の読み聞かせ



1月28日に冬恒例の「旗源平」を行いました。源氏方、平家方に分かれ、互いに旗を取り合います。さいころを投げる時の声を合わせての応援や、良い目が出た時のチームみんなで喜び合う姿には、本当に刈安の子供たちは仲がよいと実感しました。結果は、平家方の勝ちで悔しくて泣く子も出るぐらい盛り上がりました。また、その泣いている子に相手方の5年生が優しく声をかけている姿に心が温くなりました。

1月17日には、1年生が寺尾保育園に読み聞かせに行きました。保育園の子供たちに聞かせるため、一生懸命練習し張り切って出かけ、上手に読むことができました。保育園児も、よく知っている先輩なので思ったことを素直に話せていたそうです。

こんな活動ができるのもこの地域ならではのようです。これからも温かい交流を大切にしたいです。



「書く」取組へのうれしい成果！

本校ではここ数年「書く」ことが苦手な子の割合が高かったため、今年度は「条件作文」「単元まとめ」を中心に「書く」ことに取り組んできました。その成果が12月の学力調査にも表れています。また、できるようになったことを書く1月の「条件作文」には、書く力の伸びを実感している子もいました。とてもうれしかったので紹介します。

「私ができるようになったことを書きます。それは、書く力です。コツは、きまりを守って正しく書くことです。初め、中、終わりの組み立てで書くこともコツです。後は、しゅう中してしんげんに書けば書く力がつくと思います。」

